

セルフモニタリング報告書(2019 年度分)

2020 年 4 月 10 日

施設名 苦小牧市大成児童センター
 指定管理者名 特定非営利活動法人ワーカーズコープ
 所管課名 健康こども部青少年課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画以上の事業を実施した	(A)・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	達成された	(A)・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	行われた	(A)・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	積極的に取り組んだ	(A)・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	満足は得られている	(A)・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	適切に行われた	(A)・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	行われた	(A)・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	十分に行っている	(A)・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	適切な水準のもと、経費削減に取り組んだ	(A)・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	取り組んだ	(A)・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適切に行った	(A)・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	行っている	(A)・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか(使用料の減免、還付含む)。	適正に処理を行った	(A)・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	適正に管理を行った	(A)・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	適正に行った	(A)・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適正に行った	(A)・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	行われた	(A)・B・C・D・E
安全対策(事故防止等)は十分だったか。	十分に行われた	(A)・B・C・D・E

法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	適正管理を行った	(A)・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	努めた	(A)・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

今年度は2クール1年目、いままで以上に児童の安全確保と利用者一人ひとり（児童・保護者）に寄り添った支援を行ってきた。

また、日々の関わりはもとより、行事についてもマンネリ化しないように工夫を凝らして行った。

その結果、保護者との信頼関係づくりも良好に進み、保護者からの相談事も増えている。相談内容は日々の些細な児童同士のトラブルから保護者自身の抱えている悩みまで、幅広い。

こうした日頃からの保護者とのコミュニケーションにより保護者が孤独感を少しでも軽減することで、昨今問題となっている児童虐待につながるケースを未然に防ぐこともできると考え、幼児・児童の保護者への声がけに一層取り組んでいる。

課題としては今年度も幼児親子の利用を増やすことができなかつたことだ。これについては幼児又は幼児親子に喜んでもらえる行事を企画していくことを次年度の課題として力を入れていきたいと思う。

今年末はコロナウィルスの感染拡大という今まで経験したことがない状況になり、児童が自由に遊べる児童センターではなくなってしまった。今は、この状況がいつまで続くのか先が見えない状態であるが、一日も早い終息を願いつつ 2020 年度においても、児童にとって、保護者、地域において安心の居場所となれるように職員一同取り組んでいきたい。